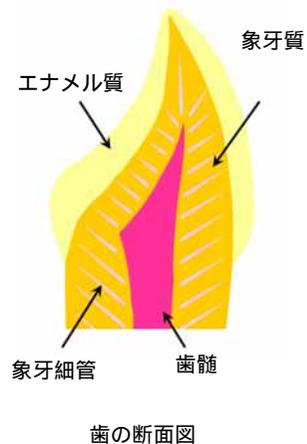


# 歯の色は変わる?!

## 1. 歯の色調

「最近、歯が黄色くなってきた」という話をよく耳にします。歯の表層のエナメル質は若年のときは白く、老齢になると透明に近くなり、内側の黄色い象牙質の色が浮き出て歯が黄色く見えるのです。また、エナメル質の厚みには個人差があり、色の浮き出し方は変わります。欧米人のエナメル質は、日本人に比べ厚みがあるので白く見えるのです。一方、象牙質にある細い管（象牙細管）に色のついた物質がたまることで、黒っぽくなってしまふこともあります。



## 2. 歯を白くする

### (1) 歯の表面の着色除去

歯の表面には微細な凹凸があり、そこに茶渋やタバコなどの色素が付着することがあります。研磨剤入りの歯みがき剤で除去できる場合もありますが、歯科医院でクリーニングをうけることをお勧めします。



クリーニング前



クリーニング後

### (2) エナメル質の漂白

エナメル質の透明化は生理的な変化ですが、薬剤を使って以前の状態に近づけること（漂白）が可能です。漂白には歯科医院で行うオフィスホワイトニングと歯科医師の指示に従って自宅で行うホームホワイトニングがあり、患者さんの症状にあわせて行われます。しかし、エナメル質を薬剤で以前の状態に近づけたただけなので、時間とともに黄色味の後戻りが見られます。



ホームホワイトニング前



ホームホワイトニング後

### (3) 象牙質の漂白

象牙質の着色は、歯ができる時期の特定の薬の服用による変色、歯の外傷や歯の神経の治療後の変色などがあります。外傷や治療後の変色は歯の内側から象牙質を漂白することで、ある程度回復することが可能です。



漂白前



漂白後